



応募用紙 2

応募者名 (トモ)

～ベッドサイドテーブルとディスプレイアームを組み合わせ

ベッドに寝た状態でパソコンの画面を見やすくした～

かいぜんまえ 改善前 かいぜんまえ 【改善前にはどのようなことでお困りでしたか】

ベッドに寝た状態でパソコンを見るために、市販のディスプレイスタンド（キャスター付き）をパソコン関係の業者に借りたが、ベッド下の隙間が狭くてスタンドが入らなかった。

ベッドの横にスタンドを置いて、背中にクッションを入れて身体を少し横に向けてディスプレイを見ていた。下になっている方の耳に水が溜まってしまい、耳鼻科の先生から「身体を横に向けず、真正面を向いているように」と言われた。

かいぜんまえ 改善前 かいぜん 【改善する時に工夫したこと、考えたことはどのようなことですか。】

ベッドに寝た状態で、真正面でディスプレイが見られるようにしたい。

万が一、ディスプレイが落ちると身体に当たってしまうので、その対策もしたい。

かいぜん 改善した内容

ベッドサイドテーブル（キャスター付き）とディスプレイアームを組み合わせることを思いつく。

介護用品を扱う業者に問い合わせをして、ベッド下の隙間に入るタイプのベッドサイドテーブル（キャスター付き）を探してもらって購入。

電気店で、机に取り付けることができるクランプ式のディスプレイアームを購入。

電気店の店員から「ディスプレイアームのクランプを取り付けるテーブル天板が薄すぎると、テーブル天板が割れてしまうかもしれない」と言われたので、クランプ式モニターアーム用補強プレートも一緒に購入。

ベッドサイドテーブルがトレイ形状天板だったので、クランプを取り付ける場所の段差を無くすために木の板を2枚用意し、テーブル天板とクランプの間に挟んだ。

パソコン関係の業者に「重心が傾くと倒れやすくなる。ディスプレイアームのクランプは、ベッドサイドテーブルの支柱の近くに取り付けるといい。アームは伸ばしすぎないように。」と教えてもらったので、そのことに気を付けてディスプレイの位置を調整した。





応募用紙 3

応募者名 (トモ)

改善後【改善後、楽になったことや良かったことはどのようなところですか】

身体の正面にディスプレイを持つてくることができ、楽な姿勢でパソコン操作ができるようになった。耳に水がたまることもほとんどなくなった。

改善後の様子がわかる絵や写真などがあれば貼り付けてください。

ベッドサイドテーブル
(キャスター付き)

クランプ式
ディスプレイアーム

プレート(大)×1枚

プレート(小)×1枚

滑り止めシート×1枚

裏面に
滑り止めシート

プレート(大)

プレート(小)

補強用プレート (左:セット内容 右:使用例)

テーブル天板の段差解消と補強のため、補強用プレートとテーブル天板の間に上下1枚ずつ木の板を挟んだ。

